

<基本理念>

だれもが安心して過ごせるまちづくり

<目 標>

だれもが移動しやすい
都市基盤の
バリアフリーの推進

だれもが歩いて行き交うことができるように、公共交通や道路、信号機等の都市基盤のより一層のバリアフリー化を目指します。

だれもが利用しやすい
生活基盤の
バリアフリーの推進

だれもが安心して過ごせるように、建築物や駐車場、公園、商店街等の生活基盤のより一層のバリアフリー化を目指します。

ひと・まちを
育て支える
心のバリアフリーの推進

だれもが安心して過ごせるように、日常的な声掛けやマナー向上等の心のバリアフリーの浸透による社会的障壁の除去及び共生社会の実現を目指します。

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想

<重点整備地区>

北茅ヶ崎駅周辺は、茅ヶ崎駅周辺と合わせて、
移動等円滑化のための事業が実施されることが
特に必要であると認められる地区
⇒重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進

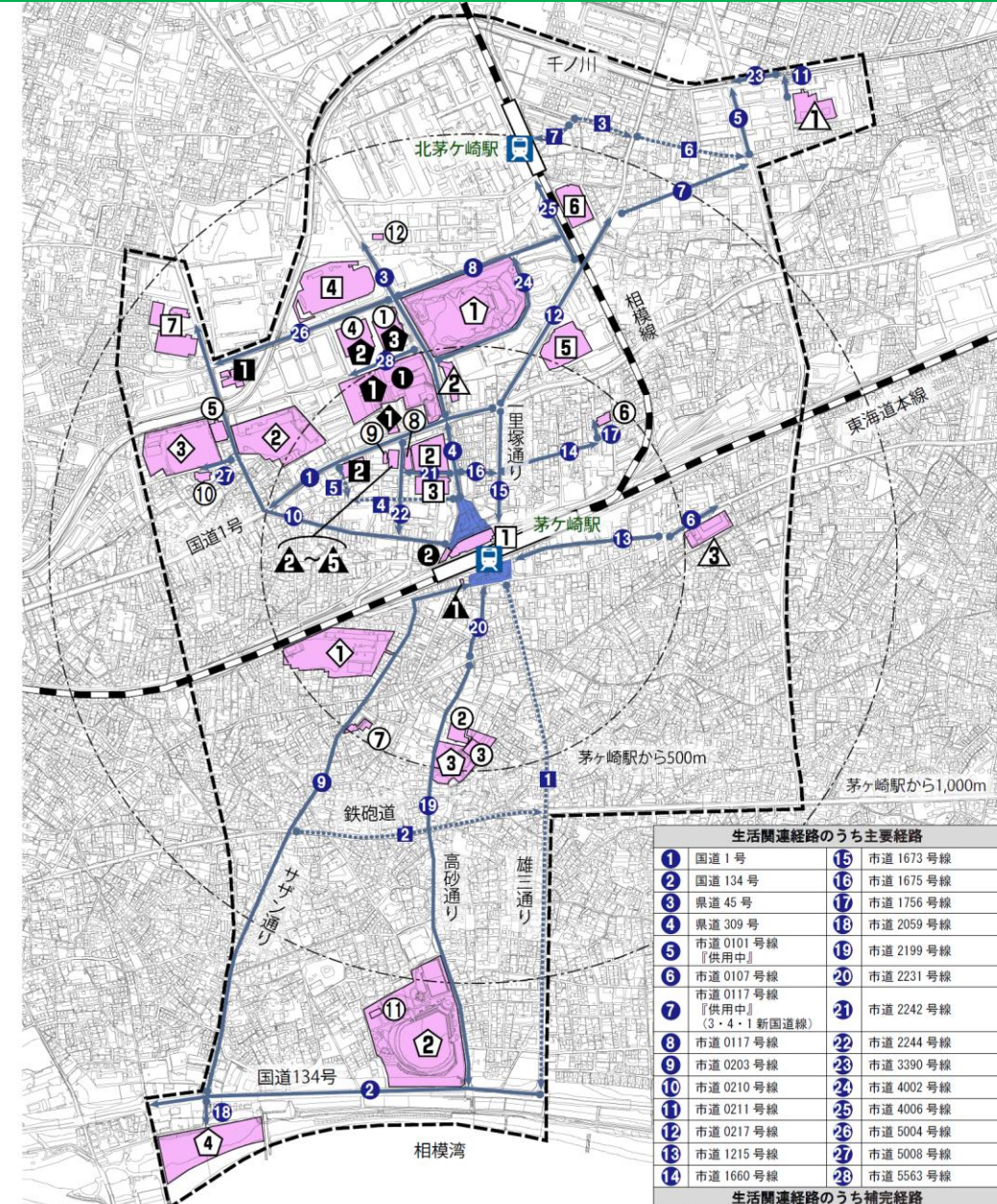


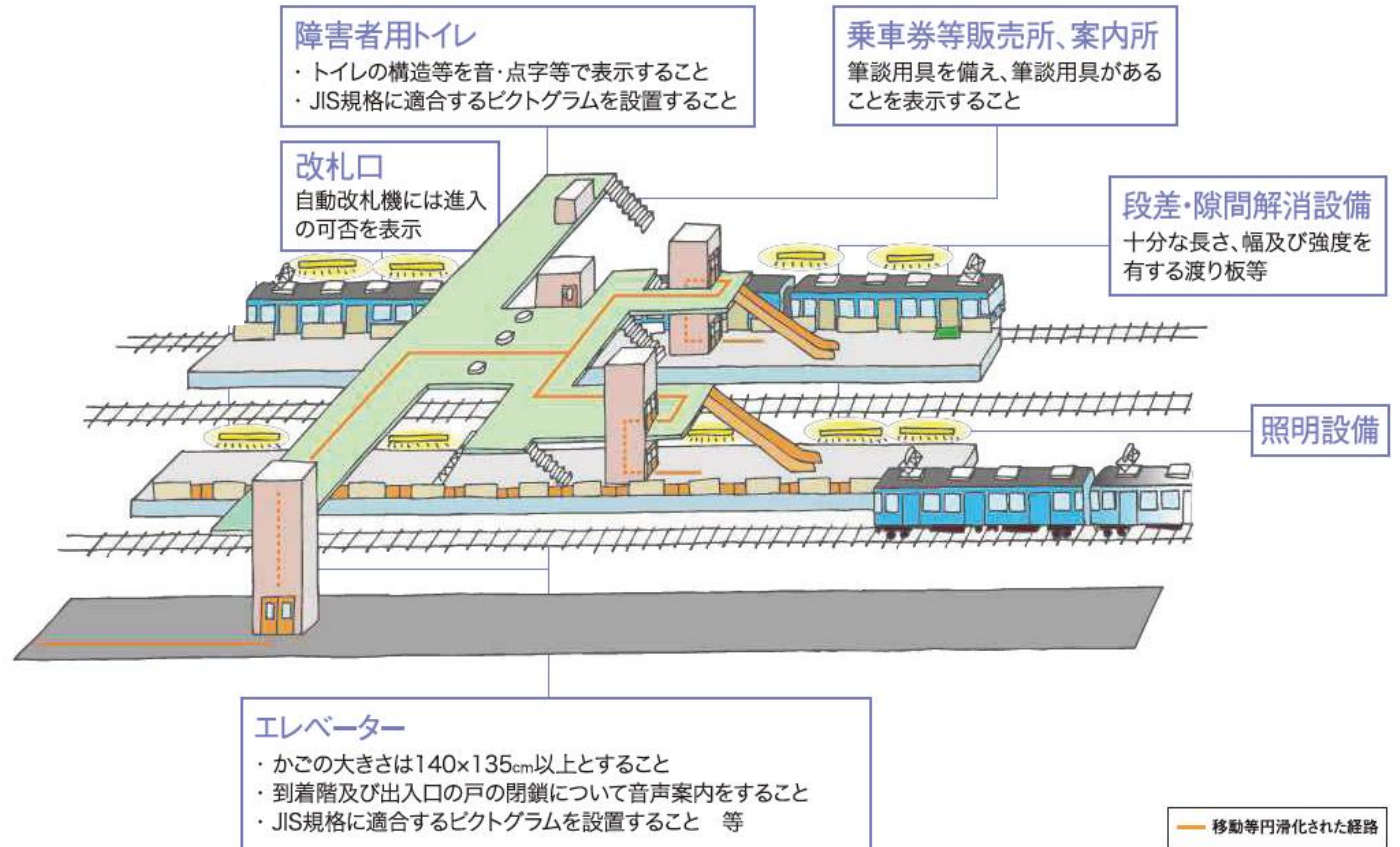
図 茅ヶ崎駅・北茅ヶ崎駅周辺地区 重点整備地区図

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想

<バリアフリー配慮事項>

さらなるバリアフリー化に向けて、施設管理者がバリアフリー化に取り組む際の配慮事項を整理

項目	旅客施設（北茅ヶ崎駅）のバリアフリー配慮事項
通路	バリアフリー化された経路の確保（改札口からホームまで）
ホーム	ホーム上の安全対策（内方線付点状ブロックの設置、ホームと車両の段差や隙間の縮小 等）
券売機	移動等円滑化基準に沿った設備改良（券売機の蹴込みの設置など）
トイレ	バリアフリートイレの設置（多様な利用者への適切な対応）
案内	音声案内の充実（無人化の時間帯など）
教育啓発等	駅員教育の実施（多様な利用者への適切な対応）
役務の提供等	駅員による案内やサポートなどの対応の充実
その他	パソコンやスマートフォン等のICT機器・サービスを利用できないことによるデジタル格差の解消に配慮した情報バリアフリーに配慮（多種多様な方法による情報伝達等）



バリアフリー化された駅のイメージ図
（※北茅ヶ崎駅とは異なります。）

<北茅ヶ崎駅整備事業費(9,680,000円)の目的>

- ・ 駅を利用するために不可欠なバリアフリー化に向け、JR東日本が実施する調査設計の費用を負担するもの。

<調査設計の内容>

- ・ バリアフリー設備設置及びバリアフリールートの検討
- ・ 駅構内の支障物対策(移設・移転、改築、撤去等の可否の検討)
- ・ 概算工事費の算出